

### 保育計画(新規事業計画)成果報告書

|         |                                                                   |
|---------|-------------------------------------------------------------------|
| 法人名等    |                                                                   |
| 施設名     | 小規模保育施設おひさま保育園                                                    |
| 報告者（役職） | 川田 文（園長）                                                          |
| 住所・連絡先  | 香川県高松市三条町 494-1                                                   |
|         | ☎ 087-899-5565<br>E-mail ohisama.nursery.r0404@iaa.itkeeper.ne.jp |

○タイトル（保育計画 or 新規事業計画）

おひさま と お友だちといっしょに、遊び込む楽しさを共感する！

○主な助成備品

泥だんごテーブル、屋外用ミニキッチン、コンロ、テーブル、お庭でお料理セット等

#### 1. 保育計画(新規事業計画)策定の目的

本園は、令和4年に「おひさまのようにあたたかい愛情をもって保育にあたり、子どもたちにおひさまの下で外遊びをいっぱい楽しんでもらいたい」と開園しました。

開園にあたり、みんなで遊べる外遊び用の玩具を用意しましたが、今のままでは種類も少なく足りない状況でした。

子どもたちは外遊びが好きで、おひさまの光を浴び、お友だちとかかわりをもち、いっしょに遊ぶ。隣接する関連幼稚園の園庭に出て、お友だちとかけっこ（歩く・走る）、フラフープ（つかむ・跳ぶ・しゃがむ）、押し車（押す・引く）、ボール遊び（投げる・転がす）、バイク（蹴る・漕ぐ）など、全身を使って遊びの中で身体の使い方や、共に遊ぶ楽しさを感じてもらいたいと思います。

外遊びの中でも砂場での「ごっこ遊び」が特に好きです。保護者の真似をして料理を作る姿や、友だちといっしょに「いろいろな職業」になりきり遊ぶ姿がよく見られます。

上記の遊びのつながりや、遊び込み楽しさや喜びを友だちや保育者と共感する遊びとして、本園では「砂場遊び」に力を入れたいと考えました。

その中で、子どもたちの健やかな成長のために「遊び込む」楽しさを保育士とともに共感していきたいと思い計画を策定しました。

## 2. 具体的な実施内容

今回導入した砂場遊びの道具

泥だngoテーブル・屋外用ミニキッチン（シンク、コンロ、テーブル）・お庭でお料理セット・のりもの遊びセット・なかよしままごとセットを導入しました。

### 【0歳児】



屋外用ミニキッチンを並べて、お友だちと一緒に砂遊びを楽しむ姿が見られます。素手で砂を掴みキッチンに何度も置いたり、それを払ったり砂の感触を楽しむことができました。友だちの様子を見ながら、スコップやボウルなどの道具も使い、一人ひとりが砂遊びに打ち込む姿が見られました。

### 【1歳児】



1歳児になると、様々な型を使って砂を入れたり、押し固めたりする姿が見られます。満足いくまで、料理ごっこを楽しみました。また、お友だちといっしょに同じ作業をする姿が見られます。ボウルを台（キッチンに見立てた）に置き、スコップで砂をかき混ぜながら友だちと一緒に話ししながら、料理を作りました。

## 【2歳児】



砂に水を混ぜて泥団子を作る姿や、花びらや木の枝を使いケーキを作ったり、お店屋さんごっこをする姿が見られました。

自分で作ったものを、様々な料理に見立て、形になって目の前にあることを喜ぶ、そして友だちや保育者に伝えて、共有する楽しみを味わいました。

砂場以外で遊んでいる友だちも様子を見に来たり、「お店屋さん」「お客さん」の役割でごっこ遊びをしたりと、遊びの幅がどんどん広がっています。

### 3. その成果と評価

まず、砂場で遊ぶ機会が増えたことにより、手先の感覚を養うことができ、感触を味わいながら、様々な手の動き（手ですくう、指でなぞる、強く握りしめるなど）をするため、自然に手先の感覚が養われていると思います。

ごっこ遊びについても様々な道具が増えたことにより、道具を使いながら遊びが具体的になり、遊ぶ友だちとのつながりや人数も増え、遊びの広がりを感じることができています。

今回の砂場遊びの道具を導入したことにより、遊びの幅が広がりじっくり遊ぶことも増えてきました。当初計画していた「遊び込む」姿や、友だちとの遊びを共感する喜びを感じ取ることが子どもたちの中で増え、遊びに創意工夫をするようにより、砂場を中心に遊ぶ範囲も広がったように感じます。

#### 4. 今後の課題と展望

砂場で遊ぶ道具は増えてきましたが、乳児同士で遊ぶと遊びが単調となることも見られます。より遊びを広げて、新しい遊び方を知るために、幼児との異年齢遊びなどを実施していきたいと思います。

その他には、保育士が乳児の心身の発達状況の理解を深め、砂場遊びを中心としたドキュメンテーションを利用しながら園内研修を実施していき、職員一同で保育の質向上を意識して子どもたちの成長と一緒に感じて学んでいきたいと思います。

以上